



すみかわ きいち

澄川喜一先生の スペシャルトーク

専門家による、大人向けのトークイベントです。

今年は、東京スカイツリーのデザイン監修の彫刻家・澄川喜一先生のスペシャルトークです。

保護者の皆様、子どもの造形に関わっている指導者の方、ぜひ、お話を聞きに来てください。

聴講無料



時間 ➡ 2011年7月31日(日) 14:00~14:45



会場 ➡ 横浜市民ギャラリー展示室(事前申込不要)

講師プロフィール



澄川 喜一 (すみかわ きいち)

1931年 島根県生まれ 彫刻家

木を素材に、日本刀や神社・仏閣の屋根にみられる「そののあるかたち」で日本の伝統美を追求。

1995年から2001年まで東京藝術大学学長。

1979年平櫛田中賞、2003年芸術院恩賜賞、2008年文化功労者。

現在、横浜市芸術文化振興財団理事長、島根県芸術文化センター長・石見美術館館長などを務める。

私は、幼いころから絵描きになることが夢でした。

軍人になることを良しとされる戦時下の中学入試(当時11才)において、「将来絵描きになりたいです。」と胸を張って返答し、結果は見事不合格。青春の挫折を味わいました。しかし、不合格であるが故、戦争に行かずに済んだと云えるでしょう。

その後、戦火に散った従兄弟たちの悲しみを胸に故郷の橋・錦帯橋をスケッチすることに没頭しました。

美しいアーチを描く錦帯橋に魅了され、橋を写生しながら、この橋の成り立ちについて詳しく調べ始めました。

このことが今の私の環境造形を手がける原点となります。

また、錦帯橋を調べたことから法隆寺や東大寺といった日本の古い建築についても調べるようになりました。

日本独自の木造遺構は汲めども尽きない知恵に溢れ、壮大なスケールの計画に驚き、彫刻家を志すきっかけとなったのです。

(※彫刻家澄川喜一公式websiteより抜粋)

澄川喜一先生のホームページはこちら！

<http://www.sumikawa-art.com>

検索